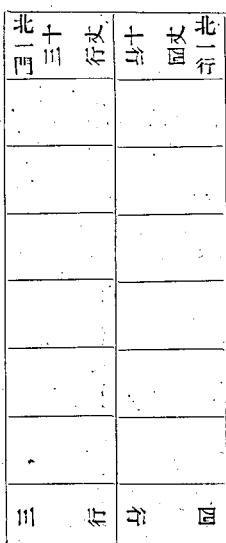


へ、右京は東よりかぞふ、



北
一町の中に小徑を開く時は此筋也、幅一丈五尺。
南

二門

之圖

行	身	二
三	十	三

の歎屋町、堺町、間之町、車屋町、兩替町、衣棚、釜之座、小川出來たり、是四行の間に一小路を設ける式文の證也

〔朝野群載二十一〕三條令解申立賣買家地券文事
雜文

合地捌戸主 在左京三條四坊四町西一行略

應和元年八月十五日

〔朝野群載二文十〕左京五條令解申立賣買家地券文事

合地漆戶主漆丈壹尺肆寸

在左京五條四坊二町西二三四行北六七八内略

永保三年十二月廿

〔東寺百合古文書 百六十一〕内侍所女官三條訴清原行守遺物事

賣人文章生藤原

賣人海

一五六

此圖は壹町にして四十丈四方也、前の圖の
縦通四十丈を八ツに截て八門とし、横通四
十丈を四ツに截て四行とす、此四行に八門
を配すれば三十二門と成、田地の何反幾畝

算へ右京は東北より算ふ
四行の體は後世に至ても謠に分れり、横道
東は平安城開闢の條に變らず、縱道南は上
西

古にかはりて悉く小路の數倍せり、今在存

川、醒井、岩上、新町、これらの類、後世に逮んで